

平成 23 年度実施協働事業 協働事業評価書

事業名：介護予防普及活動（栄養講座・情報提供）

団体名：NPO 法人 ぽけっとステーション

担当課：長寿あんしん課

評価者：協働推進懇話会（委員 8 名 評価者 7 名）

評価：○ 適当 工夫が必要 × 改善しなければならない

■ 事業の評価（事業目的、問題解決の手法、事業の実施体制、年間スケジュール、事業継続性、協働の必要性、協働の成果、他団体とのネットワーク）【○ 6 人 1 人】

- ・集会をしているところに出向く手法は市民団体ならではのことであり、受益者の幅の拡大につながったと思われる。
- ・事業実施後のアンケート開催時期（翌年 6 月頃にアンケート依頼）を、もう少し早めるとよい。
- ・収支決算において、講師の謝礼やスタッフ労務費がほとんどで指導媒体費や消耗費は 1/20 程度しかないことに驚く。人件費の負担を協働事業というのはおかしいのではないか。
- ・生活習慣病の予防や低栄養の抑制という観点だけでなく、ひきこもりの予防、交流の場の提供など様々な波及効果が得られる事業である。

■ 協働の評価（協働の必要性、協働の成果、他団体とのネットワーク）【○ 6 人 1 人】

- ・担当課は当事者意識をきちっと持つことが必要。
- ・自治会との連携のきっかけとして本事業が活用されたことは成果である。
- ・食育・栄養改善にとどまらず、地域包括支援センターや長寿あんしん課とも協働して、介護予防の取り組み等について周知を図った点も評価できる。

■ 自己評価の評価【○ 6 人 1 人】

- ・プログラムの改良をすすめていくようなので、この事業をステップとした新たな展開に期待したい。

■ 総合評価（今後事業が発展するためのアドバイス）

- ・未実施の多くの自治会があるので、引き続き実施することが望ましい。協働事業であることで、当団体の活動が自治会につながる効果が見られる。
- ・この事業がきっかけとなって、市内各地に定期的なサロン活動が生まれる展開になるとなるとよい。
- ・介護予防は、継続性のある多様なメニュー・プログラムが求められる分野なので、「ぽけっとステーション」のような NPO と提案制度以外で、担当課が連携できるしくみを整備していくことが今後は必要なのではないか。
- ・市民提案のメリットを活かした独創的で大変意義のある事業で、十分な成果がでており、事業の継続も期待されているものである。今後は、協働提案事業における、講師謝礼やスタッフ労務費の基準額等についても検討する機会があればよい。
- ・行政だけでなく自治会とも協働しての取組であり、継続的に他の地域でも実施することで更なる広がりや成果が大いに期待できる。